

平成 30 年度 予算のあらまし



平成 30 年 4 月に刈谷市立刈谷特別支援学校が開校しました。小垣江東小学校との併設という特徴をいかし、児童生徒が共に学び、交流し、理解することができる環境を整えているほか、刈谷豊田総合病院と連携した医療的ケア体制を構築しています。

「元気で幸せ」を実感できる まちづくりを目指して

刈谷市長

竹中 良則

Yoshinori Takenaka

わが国の経済活動は、設備投資の増加、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しなどの好条件が見受けられるようになっております。本市財政におきましても、各企業の業績回復を背景に市税収入の増加を見込んでおりますが、引き続き、効率的で効果的な行政経営により健全な財政運営の維持に努めてまいります。

こうした中、平成30年度予算は、市民生活の安心安全を確保する施策を推進するとともに、本市が未来に向けて発展していくための投資となるスマートインターチェンジの整備に合わせた周辺道路の一体的な整備、JR刈谷駅及び北口周辺の整備、工業用地の整備、西三河知多アクセス道路の具体化への検討など、まちの魅力と風格を高めるための施策に取り組んでまいります。

また、本市の行政運営を進めるための指針である「第7次刈谷市総合計画」に定められた施策を着実に推進するとともに、子どもから高齢者まで全ての市民の皆様が“元気で幸せ”を実感し、住み続けたいまち、住んでみたいまちであるために、本市の将来都市像である「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現に向け、さまざまな取組を積極的に実施してまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1	計画推進分野	11
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	主な財政指標の推移	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
都市環境分野	4	市債の状況	12
教育文化分野	6	市民1人当たりの予算額（用途別）	13
福祉安全分野	8	刈谷市の家計簿	13
産業振興分野	10		

予算の規模

一般会計の平成30年度当初予算額は、599億1,000万円で、前年度当初予算額と比較して4.3%の増となります。これは、スマートインターチェンジの整備に合わせた周辺道路の一体的な整備、小学校の空調設備設置、老朽化に伴う小中学校の大規模改造などにより増額となるためです。

土地区画整理事業、国民健康保険など特別会計は、229億669万5千円で、前年度と比較して3.9%の減、企業会計の水道事業会計、下水道事業会計は、101億6,917万5千円で、前年度と比較して0.9%の減です。

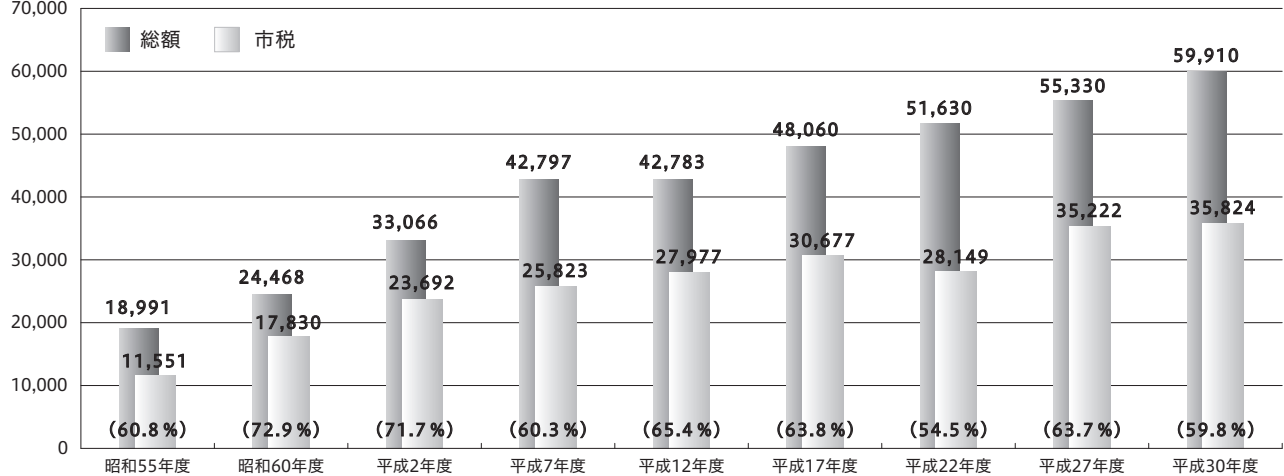
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は、929億8,587万円で、前年度と比較して1.6%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	59,910,000	57,450,000	2,460,000	4.3
特別会計	22,906,695	23,835,353	△928,658	△3.9
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	743,765	509,897	233,868	45.9
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	107,599	116,415	△8,816	△7.6
国民健康保険会計	12,013,819	13,713,530	△1,699,711	△12.4
後期高齢者医療会計	1,811,926	1,654,998	156,928	9.5
介護保険会計	8,229,586	7,840,513	389,073	5.0
企業会計	10,169,175	10,264,211	△95,036	△0.9
水道事業会計	3,917,556	3,821,003	96,553	2.5
下水道事業会計	6,251,619	6,443,208	△191,589	△3.0
合計	92,985,870	91,549,564	1,436,306	1.6

当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



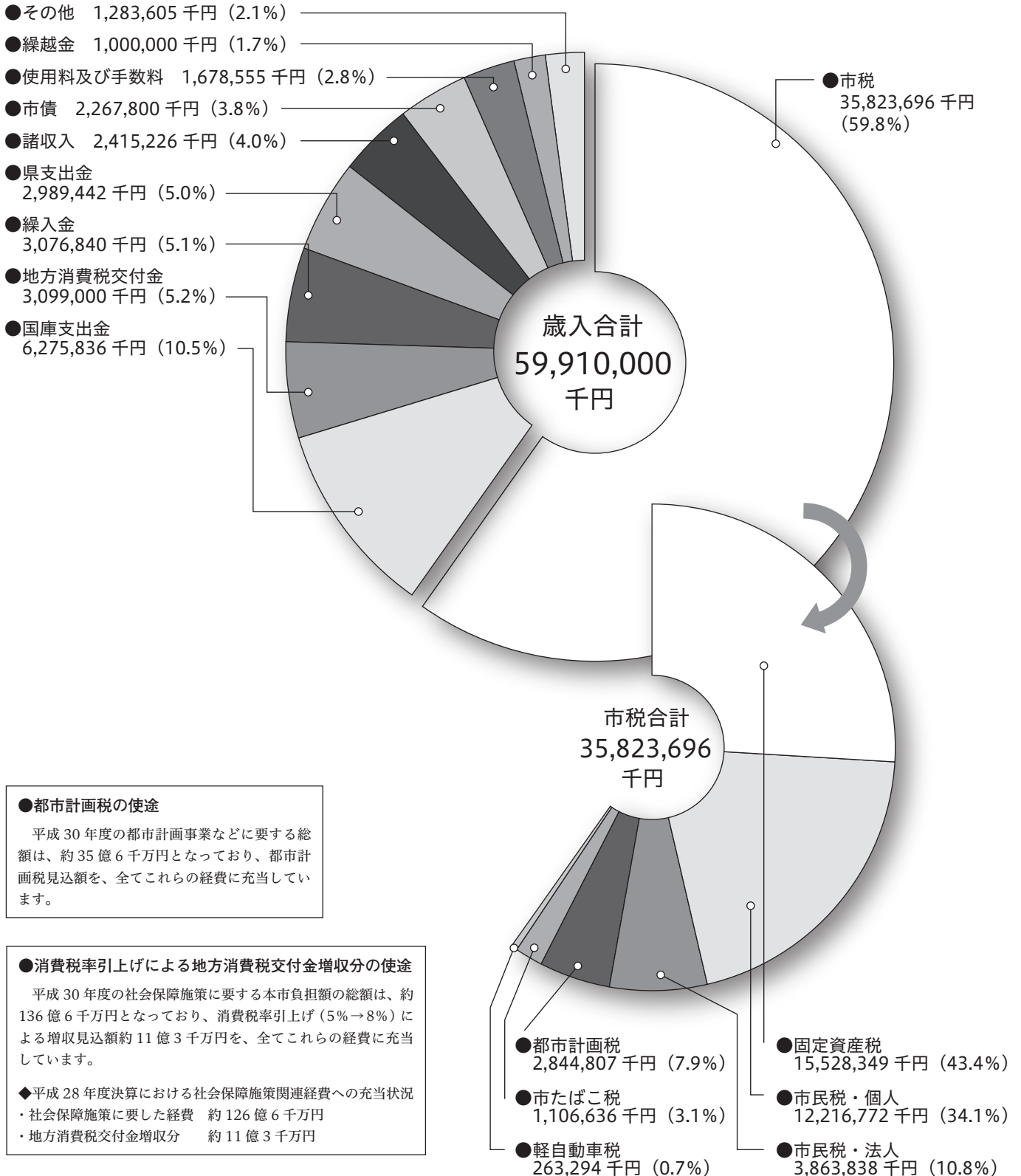
	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成30年度
人口 (4月1日現在)	104,615	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	150,617
世帯数 (4月1日現在)	34,601	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	64,833

※昭和55年度以降の5年毎の額と平成30年度の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、358億2,369万6千円で前年度当初予算額と比較して7.5%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、59.8%です。基金等からの繰入金30億7,684万円は、公共施設維持保全基金、亀城公園等整備基金、都市交通施設整備基金及び財政調整基金などを活用しています。市債22億6,780万円は、小学校の空調設備整備事業などの財源とします。



●都市計画税の用途

平成30年度の都市計画事業などに要する総額は、約35億6千万円となっており、都市計画税見込額を、全てこれらの経費に充当しています。

●消費税率上げによる地方消費税交付金増収分の用途

平成30年度の社会保障施策に要する本市負担額の総額は、約136億6千万円となっており、消費税率上げ(5%→8%)による増収見込額約11億3千万円を、全てこれらの経費に充当しています。

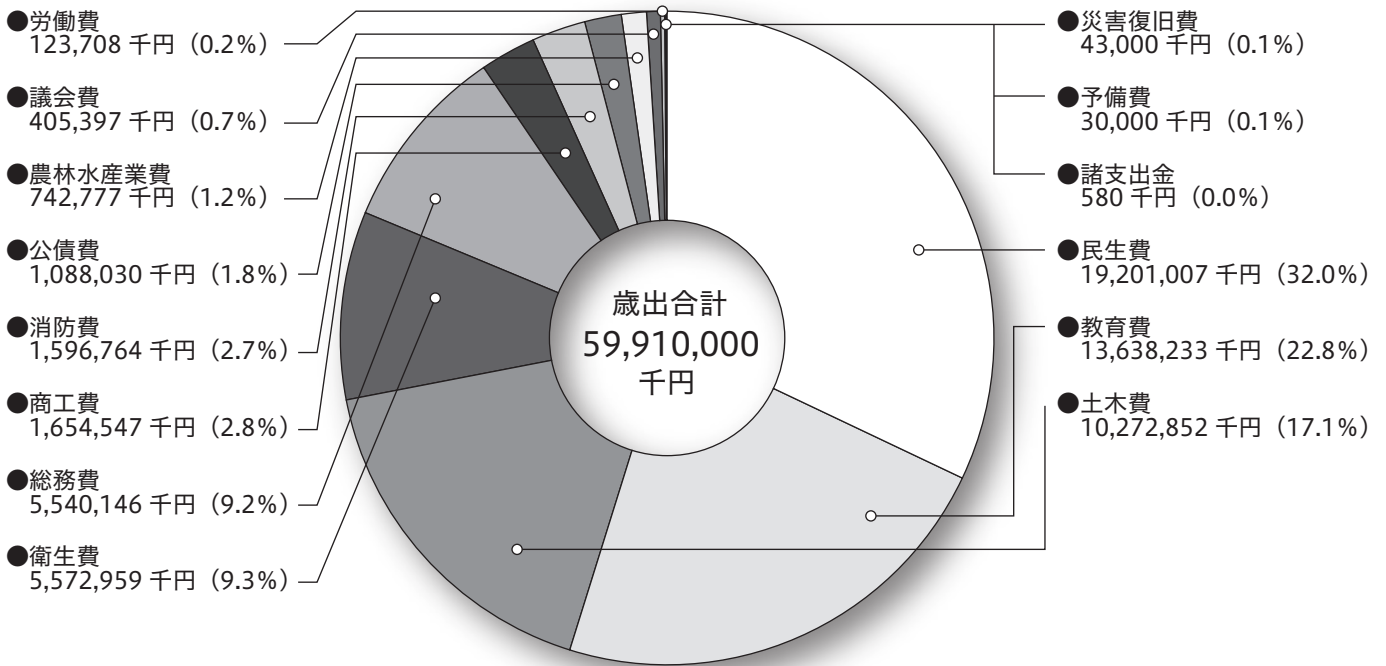
- ◆平成28年度決算における社会保障施策関連経費への充当状況
- ・社会保障施策に要した経費 約126億6千万円
- ・地方消費税交付金増収分 約11億3千万円

歳出

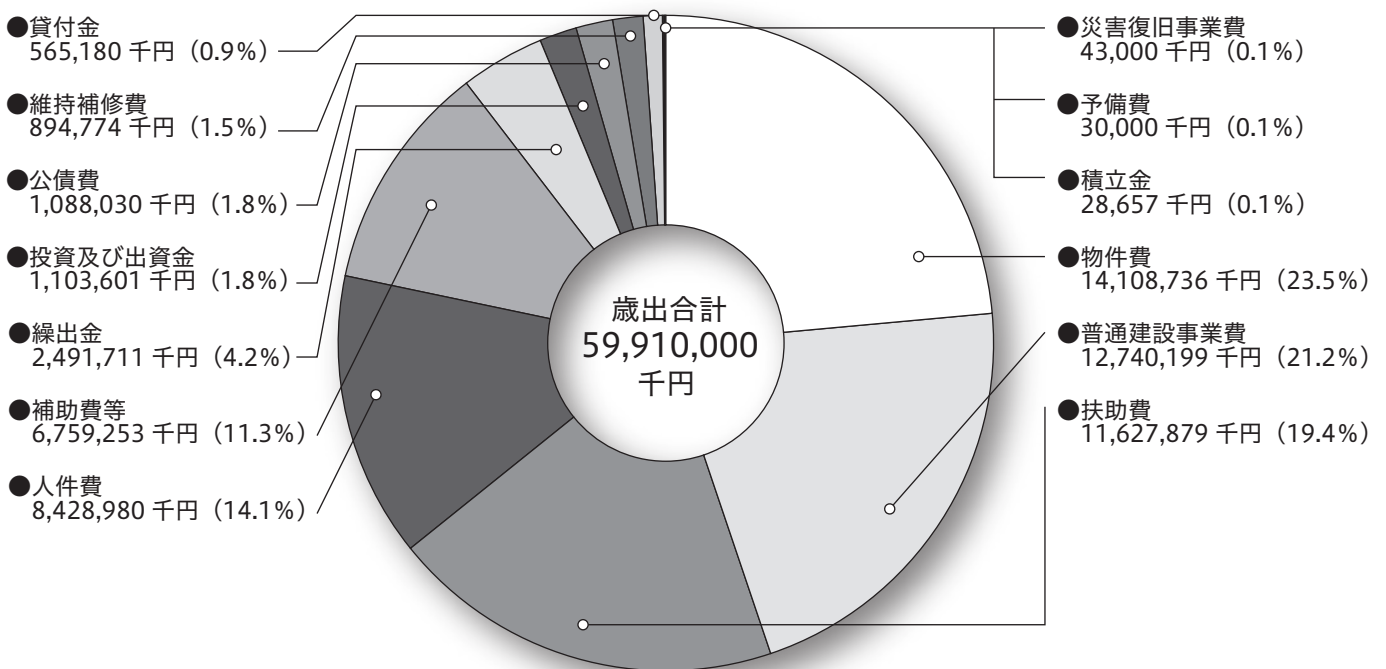
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、32.0%の民生費 192 億 100 万 7 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や生活保護措置事業などです。次に、教育費 22.8%、136 億 3,823 万 3 千円です。そして土木費の 17.1%、102 億 7,285 万 2 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、21.3%です。

●目的別内訳



●性質別内訳



都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

新 刈谷市駅前市街地再開発事業

10,000 千円

まちなか居住の積極的な促進と機能的で利便性の高い拠点形成のため、市街地再開発などによる都市基盤の再生・整備により、景観にも配慮した快適な都市空間を創出します。

- 市街地総合再生基本計画の作成
- 地区面積 約 18ha
- 事業箇所 広小路ほか

銀座A B地区整備事業

191,200 千円

中心市街地としてふさわしい土地の高度有効利用を図るため、商業施設や社会福祉施設、住宅などが複合した施設を整備する民間事業者に対して支援します。

- 地区面積 約 0.67ha
- 延床面積 約 16,600㎡ (28 階建て)
- 主な用途 商業施設、社会福祉施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 銀座ほか



外観 (イメージ)

新 ユニバーサルデザインタクシー 購入費補助事業

2,400 千円

親子連れ、高齢者、障害者をはじめ、誰もが快適に利用できる交通環境の整備を推進するため、ユニバーサルデザインタクシーの購入費用の一部を補助します。

- 対象者 市内に事業所を置き、市内を営業区域としているタクシー事業者
- 補助額 車両 1 台当たり 30 万円



刈谷駅北地区整備事業

123,200 千円

多彩な駅前機能の充実を図り、活気と賑わいの創出、まちなか居住の推進、定住人口の増加を図るため、市有地を活用し、商業施設や住宅、観光案内所などが複合した施設を整備する民間事業者に対して支援します。

- 地区面積 約 0.3ha
- 延床面積 約 14,300㎡ (20 階建て)
- 主な用途 商業施設、業務施設、公共施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 桜町



外観 (イメージ)

都市交通計画調査推進事業

138,966 千円

“ひと”と“環境”にやさしく持続可能な都市交通体系構築のため、交通の円滑化を目指した道路計画、公共交通計画及び移動手段の適正化を推進します。

- JR刈谷駅ホーム拡幅設計
- 刈谷駅南北連絡通路予備設計
- 西三河知多アクセス道路調査検討
- 都市交通戦略基礎調査

市営住宅長寿命化整備事業

483,519 千円

老朽化した市営下重原住宅を一部建て替え、戸数を拡大するとともに、耐震補強などの改修を行います。

- 既設 1 棟の増築工事及び耐震補強等改修工事
総事業費 589,519 千円
(29 年度 106,000 千円)
(30 年度 483,519 千円)

人と環境の共生する持続可能な低炭素社会や循環型社会の形成に配慮し、快適な都市空間の整備を進めることにより、生活の質を維持・向上させることを目指し、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを進めます。

市道01-4号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

743,034 千円

歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行います。

■道路新設改良工事

- (1) 県道岡崎豊明線以北
延長 150 m、幅員 15 m
- (2) 今川町交差点周辺西側
延長 110m、幅員 13.5m

- 用地購入 9,220㎡
- 事業箇所 西境町ほか

市道01-41号線他道路新設改良事業

487,286 千円

産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興や防災機能の強化を図るため、スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行います。

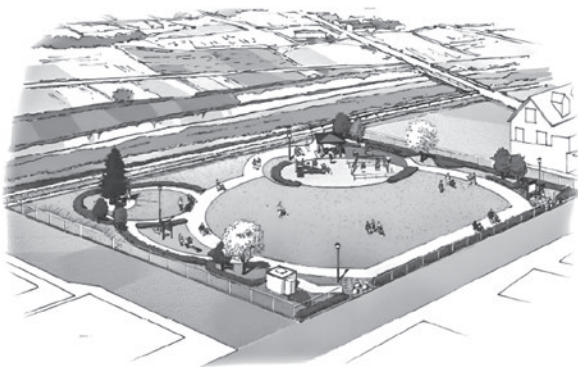
- 道路新設改良工事 140 m
- ため池改修工事 2箇所
- 用地購入 3,483㎡
- 事業箇所 東境町

新 茶屋川公園整備事業

120,308 千円

子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩いの場を提供するため、茶屋川公園を整備します。

- 街区公園整備工事
面積 約 2,500㎡
- 事業箇所 井ヶ谷町



茶屋川公園 (イメージ)

市道01-40号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

312,910 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- 橋りょう詳細設計
- 道路新設改良工事 延長 350 m、幅員 12 m
- 用地購入 2,922㎡
- 事業箇所 逢妻町ほか

都市計画道路7・4・555刈谷駅前線 道路新設改良事業

347,547 千円

刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安心で安全な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たな賑わい空間を創出するため、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進めます。

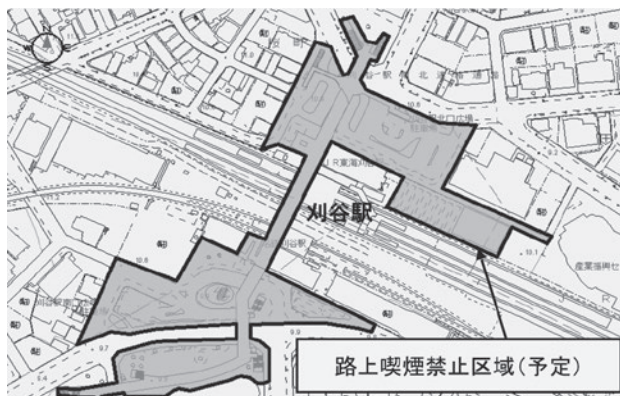
- 総事業費 423,605 千円
(30年度 347,547 千円)
(31年度 76,058 千円)
- 電線類地中化工事 延長 240 m、幅員 18 m
- 南北連絡通路延伸工事
- 事業箇所 相生町ほか

新 路上喫煙防止事業

6,922 千円

安心安全で快適な生活環境を確保するため、路上喫煙禁止区域を指定し路上喫煙を防止します。

- 路上喫煙禁止区域内の路面標示設置
- ポスター等による路上喫煙防止啓発
- 路上喫煙禁止区域内巡回指導



生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

新 刈谷市立刈谷特別支援学校 運営事業

58,688 千円

刈谷市、知立市、高浜市在住で肢体不自由がある児童生徒が通学する刈谷市立の特別支援学校を平成 30 年 4 月に開校します。

- 場所 小垣江町
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 3 階建て
- 延床面積 4,322㎡



校章



校訓

空調設備整備事業 (小学校)

1,500,000 千円

小学校の普通教室等に空調設備を設置することで暑さ対策を強化し、児童の安全を確保するとともに、教育環境の向上を図るほか、災害発生時の避難所としての機能強化を図ります。

- 空調設備設置工事



小高原小学校大規模改造事業

368,364 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、南校舎の大規模な改修を行います。

- 内外装、設備改修工事など

双葉小学校大規模改造事業

319,555 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、南校舎の大規模な改修を行います。

- 内外装、設備改修工事など

富士松中学校大規模改造事業

281,284 千円

老朽化した校舎機能を回復させるため、北校舎の実施設計と南校舎の大規模な改修を行います。

- 実施設計
- 内外装、設備改修工事など



夢と学びの科学体験館 特別企画展開催事業

22,500 千円

市内の子どもたちを中心に広く科学の楽しさに触れる機会を創出し、次代を担う人材を育成するため、春、夏、冬の学校等の長期休業期間を中心に、科学などに関連した体験展示や魅力的なプラネタリウム番組の投映などを行います。



確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を目指し、家庭、地域との連携を深め、特色のある学校づくりを進めるとともに、学習する意欲と能力を養い、低年齢から生涯にわたって学習できる生涯学習都市づくりを進めます。

新 歴史博物館開館等準備事業

21,165 千円

刈谷の歴史や文化財について市民が学ぶことができる歴史博物館を開館し、市内外の来場者に啓発促進の場を提供します。

■開館記念式典及びオープニングイベントの実施

平成 31 年 3 月下旬開館予定

■文化財資料等の移設

刈谷の歴史を後世に語り継ぐため、歴史・考古・民俗などに関する資料を歴史博物館に集約し、適正な環境で保存します。



歴史博物館外観（イメージ）

文化振興事業

31,795 千円

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、総合文化センターにおいてコンサート、古典芸能、市民大学講座などを開催します。

■主な事業（開催日は予定）

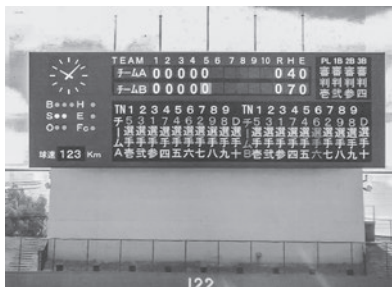
- (1) 竹中直人、生瀬勝久による舞台 5月2日～3日
- (2) 東儀秀樹、coba、古澤巖によるコンサート 9月下旬
- (3) 桂春団治 襲名披露公演 1月中旬
- (4) 市民大学講座（全4回）

新 刈谷球場電光掲示板改修事業

3,000 千円

市民のスポーツ需要への対応と健康づくりの推進のため、老朽化した刈谷球場のスコアボードを改修します。

■実施設計



スコアボード（イメージ）

新 歴史博物館企画展開催事業

8,799 千円

歴史や文化財に触れる機会を提供するため、企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示します。

■開館記念企画展の開催

「初代刈谷藩主・水野勝成展」（仮称）を開催し、水野勝成が参加した戦いに関する資料と福山転封後の資料を中心に紹介し、「武勇」のみでなく「内政」にも優れた手腕を発揮した水野勝成の人物像に迫ります。

■次期企画展の準備



水野勝成画像

美術館企画展開催事業

52,963 千円

多くの市民に質の高い美術や展示物に触れる機会を提供し、文化の振興を図るため、著名な美術家の展覧会などを開催します。

■世界を変える美しい本・怪談えほん展

- (1) 事業費 20,252 千円
- (2) 会期 4月21日～6月3日

■トヨタモーター展

- (1) 事業費 8,373 千円
- (2) 会期 7月21日～9月2日

■深堀隆介展

- (1) 事業費 24,338 千円
- (2) 会期 9月15日～11月4日



深堀隆介「金魚酒 伽琳」 平成28年

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

新 防災関連計画策定事業

5,089 千円

自助・共助・公助を進め、防災減災対策を推進するため、災害時に備えた防災関連の計画を策定します。

- 津波避難計画の策定
- 避難所運営に係る計画等の策定
- 受援計画の策定

拡 地区防災対策事業

1,000 千円

地域防災力の向上を図るため、自主防災会に対し、防災施設整備、防災資器材整備、防災活動に要する費用の補助を拡充します。

- 防災施設整備事業及び防災資器材整備事業に、地区の世帯数に応じて加算します。
- 防災施設整備事業の補助限度額に防災資器材整備事業の補助限度額分を加算します。



橋りょう補強事業

40,000 千円

地震発生後に市民が安全に避難できる経路を確保するため、避難道路に架かる橋りょうの耐震補強工事を行います。

- 橋りょう耐震補強工事
江川 2 号橋はじめ 3 橋



江川 2 号橋 (高須町)

拡 防犯対策推進事業

140,552 千円

犯罪発生を抑止し、まちの安全性を高め市民の不安の軽減を図るため、防犯上不安がある場所に防犯灯や街頭防犯カメラを設置します。

- 防犯灯設置事業
事業費 4,140 千円
- 街頭防犯カメラ設置事業
事業費 136,412 千円
※平成 30 年度末の設置台数見込：1,160 台



街頭防犯カメラ

消防団支援事業

1,333 千円

地域の防災力強化を図るため、消防団の消火活動用の機材を充実します。また、消防団への加入促進を図るため、福利厚生を充実します。

- 組立式簡易水槽を 3 カ年計画で消防団全 21 分団へ配備します。
- 年会費無料のクレジットカードを、消防団員が取得できる環境を整備します。

県営防災ダム事業

6,820 千円

岩ヶ池の堤体の耐震性を高めるとともに溢水被害の抑制を図るため、堤体及び洪水吐の改修を行います。

- 事業内容 堤体の地盤改良 (下流)
- 事業箇所 東境町

行政と市民、事業者、大学などが協力・連携し、より良い保健・福祉サービスの維持・向上を図るとともに、災害や犯罪、交通事故などに対する安全性を高めることにより、みんなで支えあいながら、住みなれた地域で心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新 高齢者緊急一時保護居室確保事業

4,218 千円

虐待を受けている高齢者などの安全を確保するため、特別養護老人ホームのショートステイ用ベッドを借り上げ、緊急一時保護を可能とする体制を整備します。

■借上数 730 日/人



拡 公立幼稚園預かり保育事業

15,746 千円

幼児の健やかな成長を促すとともに、子育て中の保護者を支援するため、預かり保育の時間を拡充して保育を行います。

■対象幼稚園

富士松北幼稚園、小高原幼稚園、朝日幼稚園

■実施時間

(1) 平日

ア 午前 7 時 30 分～午前 8 時 40 分（拡充）

イ 保育終了後～午後 4 時 30 分

ウ 午後 4 時 30 分～午後 6 時 30 分（拡充）

(2) 長期休業期間

ア 午前 7 時 30 分～午前 8 時 40 分（拡充）

イ 午前 8 時 40 分～午後 0 時 30 分

ウ 午後 0 時 30 分～午後 4 時 30 分

エ 午後 4 時 30 分～午後 6 時 30 分（拡充）

■利用料金 各時間帯 200 円



拡 認可外保育所運営支援事業

12,495 千円

子どもを安心して育てることができる保育環境の向上と、保護者の保育料負担の軽減を図るため、多様な就労形態に対応する保育サービスを拡大します。

■対象 一定の基準を満たす事業所内保育所

■支援内容

保育を必要とする 3 歳未満児 1 人当たり月額 6,200 円を支援し、そのうち半額以上を保護者に還付します。

新 行方不明高齢者等 SOSネットワーク事業

516 千円

行方不明者の早期発見、迅速な保護のため、徘徊のおそれがある高齢者などに対する情報提供体制の強化を図ります。

■事前登録者にQRコード付シールなどを配付

■刈谷市メール配信サービス上にSOSネットワークのカテゴリを新規に設置

高齢者交流プラザ駐車場整備事業

30,000 千円

駐車場不足を解消し、来所者が安全かつ快適に施設を利用することができる環境を整えるため、高齢者交流プラザの周辺地域において駐車場を拡張します。

■工事概要

(1) 路盤工事 1,919㎡

(2) 擁壁工事 210 m

(3) 転落防止柵設置工事 153 m

■駐車台数 47 台

■事業箇所 田町

拡 母子健康診査等事業

9,052 千円

聴覚障害の早期発見・早期療育につなげるとともに、保護者の経済的負担軽減を図り、子どもの健やかな成長を促すため、出生後に医療機関で実施する新生児聴覚検査に要する費用を補助します。

■対象者 平成 30 年 4 月 1 日以降に生まれた乳児

■補助額 上限 5,000 円（受診券として交付）



人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

ものづくりによって培ってきた高い技術と能力の蓄積を有効にいかしつつ、農業、商業、工業とバランスの取れた産業の振興を図り、誰もが笑顔で働き続けることのできる賑わいのある明るいまちづくりを進めます。

新 企業立地推進事業

17,400 千円

企業立地を推進するため、刈谷依佐美地区の第2期開発検討区域において、需要に応じた開発検討のための基礎調査を行うとともに、先行開発区域において、造成工事着手までの間、用地管理を行います。

- 第2期開発検討区域基礎調査
- 先行開発区域用地管理

拡 人材確保事業

2,000 千円

若年労働者の減少や高齢化等による労働の担い手不足問題を解消するため、中小企業者が大手就職情報サイトを活用した求人活動に係る費用の一部を補助します。

- 対象者
 - (1) 市内に本店登記を有する中小企業者
 - (2) 市内に事業所を有する個人
- 対象経費 掲載料
- 補助率 2分の1
- 限度額 40万円



商業団体事業費補助事業

19,318 千円

商業団体が経営の合理化や販路の開拓を図り、商業の活性化のために行う各種事業にかかる費用の一部を補助します。

拡 農畜産物特産化補助事業

130 千円

刈谷市で生産される農畜産物の生産・消費拡大及び特産化の推進を図るため、新たに地理的表示登録を行う農業者団体等へ補助金を交付します。



新 特定求職者雇用支援事業

10,000 千円

高齢者、障害者、母子家庭の母等の就職困難者の雇用機会の増大を図るため、国の特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース）の支給決定を受けた市内の事業所に対し、雇用に係る費用の一部を補助します。

- 対象者
 - (1) 市内に本店登記を有する事業者
 - (2) 市内に事業所を有する個人
- 補助額
助成金の支給決定ごとに25,000円
(1週間の所定労働時間が30時間未満の短時間労働者を除く)
- 限度額 対象労働者1人当たり5万円



拡 中小企業人材育成支援事業

2,500 千円

市内中小企業者の人材育成の促進を図るため、対象となる研修等（修了証書が交付されるものに限る）を受講する場合にその費用の一部を補助します。

- 対象者 市内に事業所を有する中小企業者
- 対象事業
 - (1) 中小企業大学校が実施する研修
 - (2) 中部職業能力開発促進センターが実施する能力開発セミナー
 - (3) 刈谷商工会議所が実施する研修等で市長が適当と認めるもの
 - (4) その他市長が適当と認める研修等
- 補助率 2分の1
- 限度額 受講者1人当たり10万円

拡 農業振興事業補助事業

5,120 千円

農産物の生産安定、収量増加、地域営農組織の運営及び米麦の団地化推進による品質向上を図ります。

- 農地の畦畔除去に対する補助
- 乾田直播に対する補助
- ジャンボタニシ駆除剤購入に対する補助



市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

市民と行政の双方向によるまちの環境を整備することにより、市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを進めます。

新 ポータルアプリ情報配信事業

7,500 千円

広報紙やウェブサイトなどでは周知することが困難であった市政情報に関わりの少ない層の人や、刈谷市への来訪者にも市政情報や緊急情報の提供を効果的に行うため、各種情報をプッシュ型で配信する市公式のアプリの開発を行います。

■ 配信する情報及び機能の概要

- (1) 防災情報のほか、スマートフォンに馴染みのある世代が必要とする子育て情報などを配信します。
- (2) 位置情報を活用した地図情報やカレンダー機能、市民からの投稿機能などを搭載します。
- (3) 最寄りのバス停や KARIYA FREE Wi-Fi のアクセスポイントの検索など、市民以外の人も必要とする情報を配信します。



新 第8次刈谷市総合計画策定事業

7,921 千円

刈谷市の現状や特性を踏まえ、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次刈谷市総合計画を策定します。

■ 策定期間 平成 30 年度より 3 年間

拡 刈谷の魅力発信事業

4,493 千円

利用者の利便性向上を図るとともに、刈谷市の魅力を効果的に情報発信するため、公共施設に無料公衆無線 LAN (無料Wi-Fi) 環境を整備します。

■ 設置場所

- (1) 刈谷ハイウェイオアシス
- (2) 刈谷駅南口広場
- (3) みなくる広場
- (4) 市役所本庁舎
- (5) 歴史博物館

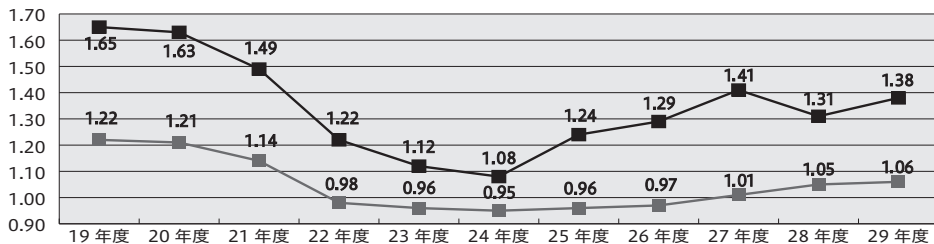


主な財政指標の推移

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1 を超えるほど財政に余裕があります。

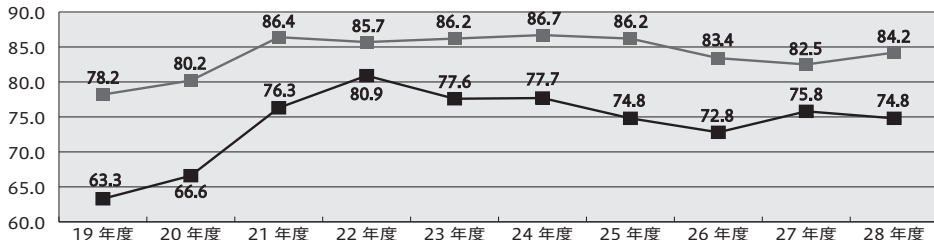
財政力指数 (単年度)



(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

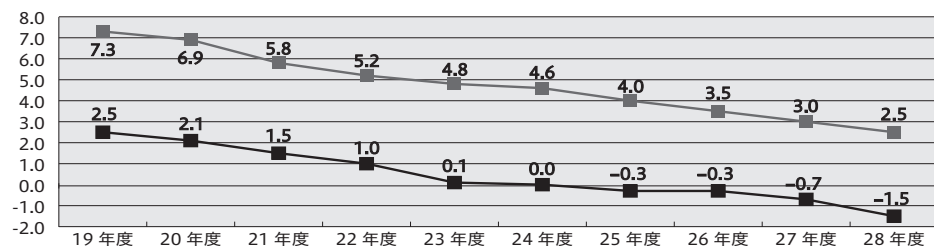
経常収支比率



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3カ年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。

実質公債費比率

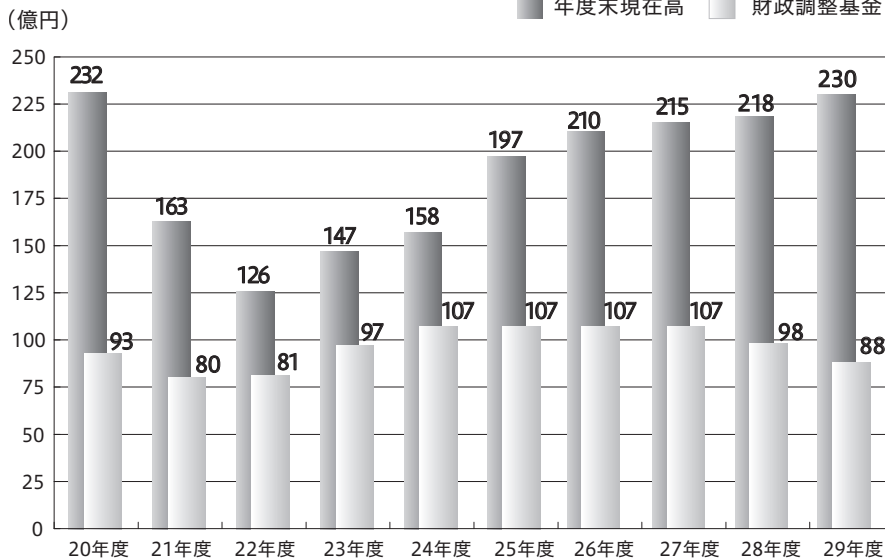


基金の状況

基金の現在高は、平成29年度末現在で、約230億4,000万円です。その内訳は、財政調整基金（約87億6,700万円）、都市交通施設整備基金（約55億200万円）、公共施設維持保全基金（約40億6,400万円）、亀城公園等整備基金（約21億6,300万円）が主なものです。

(単位：百万円)

基金現在高の推移

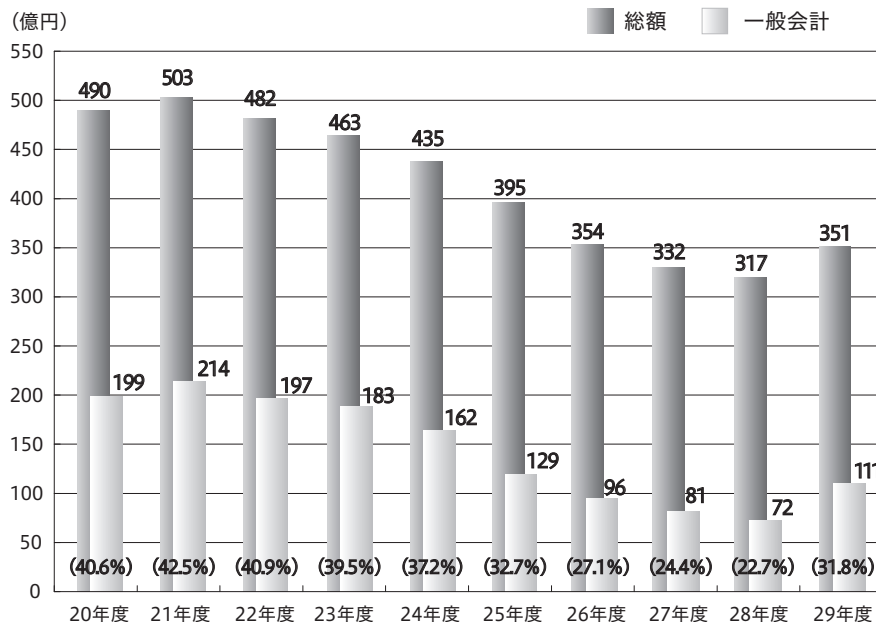


基金名	現在高
財政調整基金	8,767
土地開発基金	448
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	593
地域福祉基金	274
国民健康保険基金	269
介護保険基金	390
緑化推進基金	319
市民活動支援基金	15
亀城公園等整備基金	2,163
公共施設維持保全基金	4,064
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	5,502
合計	23,040

市債の状況

市債の現在高は、平成29年度末現在（見込み）で、約350億5,800万円です。そのうち、一般会計は、約111億3,600万円で31.8%を占めています。企業会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移

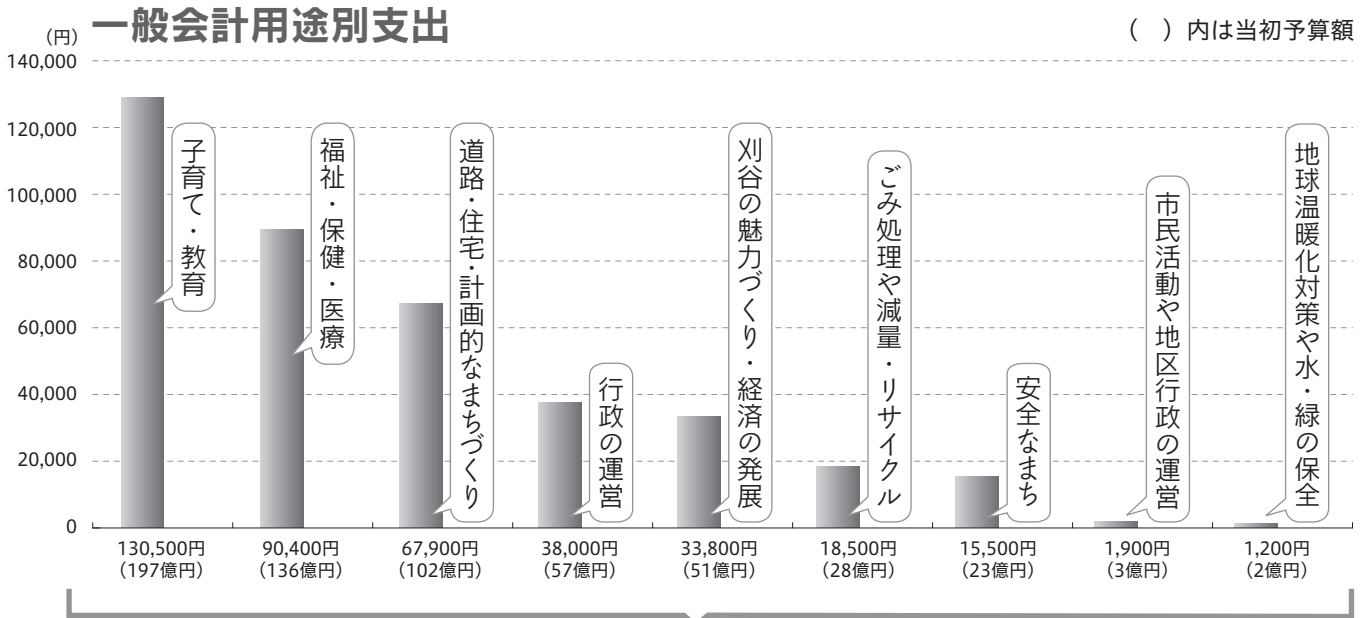


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	11,136
特別会計	186
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	186
企業会計	23,736
水道事業会計	2,124
下水道事業会計	21,612
合計	35,058

市民 1 人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の平成 30 年度予算総額 599 億 1,000 万円を、市民 1 人当たり（平成 30 年 4 月 1 日現在の人口 150,617 人）に換算すると 397,700 円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で 130,500 円、次に福祉・保健・医療分野に 90,400 円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に 67,900 円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。



市民 1 人当たりに使われる予算額 **397,700** 円 一般会計予算額 **599** 億 1,000 万円

刈谷市の家計簿

刈谷市の平成 30 年度一般会計当初予算を、年収 500 万円（月収 41 万 6,000 円）のご家庭に例えて、1 カ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の 1 カ月の家計簿

収入		支出	
給与	279,000 円	食費（人件費）	59,000 円
基本給（市税）	249,000 円	医療費、保育料など（扶助費）	90,000 円
諸手当（地方譲与税、県税交付金など）	30,000 円	家のローン返済（公債費）	7,000 円
家の修繕代の助成金、奨学金など（国県支出金）	64,000 円	家財道具の買替え、家の修繕費など（施設等整備費、維持補修費）	112,000 円
パート収入、家財の売却による収入など（使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入）	57,000 円	光熱水費、日用品、教育費など（行政運営費）	123,000 円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借入金（市債）	16,000 円	1 人暮らしの家族への仕送り（繰出金）	25,000 円
合計	416,000 円	合計	416,000 円

家族の医療費（高齢者・児童福祉などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の 3 つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約 4 割であり、県内市町村の平均割合約 5 割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2018



- この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。